

令和3年度 北部地区子ども支援 net 議事録

日 時：令和3年6月18日（金） 14：00 ～ 16：00

場 所：龍郷町りゅうかく館 講堂

参加者：

44名（福祉事業所12名、保育所学童11名、学校2名、医療3名、教育行政3名、行政11名、事務局2名）

1. 開会あいさつ

龍郷町子ども子育て応援課 **加藤 寛之** 課長

2. 自己紹介（※事務局より紹介に変更）

3. 資料説明及び事業報告（ぴあリンク奄美）

①奄美地区地域自立支援協議会（子ども部会・子ども支援 net）とは？

4. ミニ研修

「発達支援について」

鹿児島大学大学院臨床心理研究科 准教授 **高橋 佳代** 氏

<質問>

・乳幼児研修等で気になる子どもの保護者への支援について（相談や支援を受けていただくためには？）

5. グループワーク

「奄美北部での障がい児やその家族を支える人たちの連携について」

【グループ発表】

好事例

- ・療育現場への見学（学校⇒療育施設）
- ・連絡帳を通した、事業所や保育所、学校等間での連携。
- ・病院独自の関係者を集めた協議会の開催
- ・就学時に保育所からの意見を聞いてもらえる機会があった。

困り感

- ・医療と療育での訓練の線引き
- ・保育所や学校での人材不足による支援の難しさ
- ・早期介入の難しさ
- ・保護者や家族の障がいに関する理解
- ・グレーゾーンの子どもさんへの支援体制（保護者や学校の理解）
- ・本人へ必要と思われる支援と保護者の想いのギャップ
- ・支援が必要と思われる保護者への対応

- ・外国人の家族がいる場合のコミュニケーション
- ・各機関移行時の情報共有の難しさ（保育所から学校、中学校から高校など）

意見

- ・保護者の意思決定にそった、支援を各機関が連携して実施することの重要性。
- ・保護者支援も大切に（保育所、行政、保護者などの連携）
- ・自立に向けた支援の重要性（一人の子どもの成長を見守ること）
- ・関わる職員のための継続した研修体制
- ・将来の社会生活を見据えた、教育や支援カリキュラムの必要性
- ・教育委員会への保健師など専門職の配置
- ・気軽に相談できる場所の周知
- ・保護者に対して、子どもの困り感を伝える工夫が必要。